

たからづかし

統計指標

2021年 版

※兵庫県統計市区町別主要統計指標を参考に作成

利用上の注意

- ①統計数字の単位未満は四捨五入してあるので、内訳の合計が総数欄の数字に必ずしも一致しない。
- ②「－」 該当数値のないもの。
- ③「…」 該当数値が不詳のもの。
- ④「△」 数値がマイナスになっているもの。

**宝塚市市民交流部きずなづくり室市民相談課
令和3年（2021年）4月作成**

たからづかし統計指標

1 面積

令和2年10月1日現在の面積は101.80 k m²で、兵庫県下29市のうち20番目です。

(注1) 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(令和2年10月1日現在)
(境界一部未確定のため、総務省自治行政局発行「全国市町村要覧」の面積を参考値として記載。)

(注2) 令和2年度宝塚市統計書では、101.89 k m²で公表しています。

2 人口・世帯

令和2年10月1日現在の総人口(推計)は224,371人で、兵庫県下では神戸市、姫路市、西宮市、尼崎市、明石市、加古川市に次いで7番目です。

世帯数(推計)は98,001世帯で、1世帯当たりの人員は2.3人です。

平成27年国勢調査(平成27年10月1日現在)による人口は、224,903人で、兵庫県下では7番目、全国では1,719市町村中で106番目です。

3 人口密度

令和元2年10月1日現在の人口密度は1 k m²当たり2,204.0人で、兵庫県下29市のうち10番目です。

4 人口構造(3階級別) 平成27年国勢調査結果

人口構造は、年少人口(0~14歳)が29,691人【構成比13.5%】、生産年齢人口(15~64歳)が130,976人【構成比59.4%】、老年人口(65歳以上)が59,733人【構成比27.1%】です。

兵庫県の年少人口(0~14歳)の構成比は12.9%、生産年齢人口(15~64歳)の構成比は60.0%、老年人口(65歳以上)の構成比は27.1%です。

※人口構造の構成比については、各階級別の人口に国勢調査結果の年齢不詳を一定の処理方法に基づきあん分して加算して算出しています。

5 産業分類別就業者 平成27年国勢調査結果

就業者は、総数93,932人(分類不能の産業含む)、うち第1次産業854人(構成比0.9%)、第2次産業18,010人(構成比19.2%)、第3次産業72,136人(構成比76.8%)となっています。

各産業別にみると、第1次産業では農業・林業853人(うち農業844人)、第2次産業では製造業12,625人、建設業5,378人、鉱業、砕石業、砂利採取業7人、第3次産業

では卸売業,小売業 15,830 人、医療,福祉 12,761 人、教育,学習支援業 6,314 人、サービス業（他に分類されないもの）5,897 人、宿泊業,飲食サービス業 4,785 人、学術研究,専門・技術サービス業 4,254 人、運輸業,郵便業 4,018 人、生活関連サービス業,娯楽業 4,004 人、情報通信業 3,414 人、公務（他に分類されるものを除く）3,331 人、金融業,保険業 3,301 人、不動産業,物品賃貸業 3,250 人、電気・ガス・熱供給・水道業 592 人、複合サービス業 385 人。

6 昼間人口・流出人口 平成 27 年国勢調査結果

昼間人口は 179,751 人で、昼夜間人口比率は 79.9 です。

人口流動は、流入人口（15 歳以上）22,977 人、流出人口（15 歳以上）69,055 人で、46,078 人の流出超過です。

7 人口動態

令和 2 年中の人口動態は、自然減が 750 人（出生 1,480 人、死亡 2,230 人）、社会増が 238 人で、合計減 512 人の減となっています。

（推計人口：令和 3 年 1 月 1 日 224,513 人、令和 2 年 1 月 1 日 225,025 人）

8 事業所 平成 28 年経済センサスー活動調査結果

平成 28 年経済センサスー活動調査結果報告では、事業所数（民営）は 5,423 です。

産業別では、第 1 次産業が 21、第 2 次産業が 578、第 3 次産業が 4,824 です。

産業大分類別では、第 3 次産業の卸売業,小売業が 1,328 で多く、医療,福祉（第 3 次産業：755）、宿泊業,飲食サービス業（第 3 次産業：703）、生活関連サービス業,娯楽業（第 3 次産業：524）、不動産業,物品賃貸業（第 3 次産業：504）、建設業（第 2 次産業：431）、教育,学習支援業（第 3 次産業：299）、サービス業（他に分類されないもの：第 3 次産業：308）、学術研究,専門・技術サービス業（第 3 次産業：216）、製造業（第 2 次産業：147）、金融業,保険業（第 3 次産業：68）、運輸業,郵便業（第 3 次産業：50）、情報通信業（第 3 次産業：39）、複合サービス事業（第 3 次産業：27）、農林漁業（第 1 次産業：21）、電気・ガス・熱供給・水道業（第 3 次産業：3）。

従業者数（民営）は 54,498 人で、産業別では第 1 次産業が 127 人、第 2 次産業が 7,156 人、第 3 次産業が 47,215 人です。

産業大分類別では、第 3 次産業の医療,福祉が 12,249 人で多く、卸売業,小売業（第 3 次産業：11,231 人）、宿泊業,飲食サービス業（第 3 次産業：7,267 人）、製造業（第 2 次産業：4,670 人）、生活関連サービス業,娯楽業（第 3 次産業：4,324 人）、サービス業（他に分類されないもの：第 3 次産業：3,024 人）、教育,学習支援業（第 3 次産業：2,675 人）、建設業（第 2 次産業：2,486 人）、運輸業,郵便業（第 3 次産業：1,935 人）、不動産業,物品賃貸業（第 3 次産業：1,822 人）、学術研究,専門・技術サービス業（第 3 次産業：

1,376人)、金融業、保険業(第3次産業:892人)、複合サービス事業(第3次産業:229人)、情報通信業(第3次産業:153人)、農林漁業(第1次産業:127人)、電気・ガス・熱供給・水道業(第3次産業:38人)。

9 農林業 2015年農林業センサス結果

2015年農林業センサスでは、農家数は598戸で、そのうち販売農家が370戸、販売農家のうち専業農家が76戸、兼業農家が294戸です。

経営耕地面積は38,500aで、内訳は田が32,400a、畑が3,000a、樹園地3,200aです。

10 工業 2019年工業統計調査結果

2019年工業統計調査では、従業者4人以上の製造業の事業所数は56、従業者数は3,749人、製造品出荷額等は820億5585万円です。

11 商業 平成28年経済センサスー活動調査結果

平成28年経済センサスー活動調査では、商業事業所数は983、従業者数は8,510人で、卸売業の事業所数は136、従業者数は630人、小売業の事業所数は847、従業者数は7,880人です。

12 教育 令和2年度学校基本調査結果

(1)幼稚園

幼稚園数は26園(市立12園、私立14園)、園児数は3,024人、教員数は264人で、教員1人当たりの園児数は11.5人です。

(2)小学校

小学校の学校数は27校(市立24校、私立3校)で、児童数は13,965人、教員数は856人で、教員1人当たりの児童数は16.3人です。

(3)中学校

中学校の学校数は14校(市立12校、私立2校)で、生徒数は6,098人、教員数は427人で、教員1人当たりの生徒数は14.3人です。

(4)高等学校

高等学校の学校数は6校(県立4校、私立2校)で、生徒数は4,453人、教員数は288人で、教員1人当たりの生徒数は15.5人です。

13 観光客数 令和元年度兵庫県観光客動態調査結果

観光客数は10,248千人で、内訳は日帰り客10,108千人(98.6%)、宿泊客140千人(1.4%)です。

県下では、神戸市、西宮市に次いで3番目です。

14 市内総生産

平成 30 年度の市内総生産の総額は、4793 億 8500 万円です。内訳は第 1 次産業 7 億 3700 万円（構成比 0.2%）、第 2 次産業 562 億 4500 万円（構成比 11.7%）、第 3 次産業 4196 億 8000 万円（構成比 87.5%）、輸入品に課される税・関税等 27 億 2300 万円（構成比 0.6%）になります。

（注）資料：平成 30 年度兵庫県市町民経済計算

(1) 市内総生産 = 第 1 次産業総生産 + 第 2 次産業総生産 + 第 3 次産業総生産 +
輸入品に課される税・関税等

(2) 輸入品に課される税・関税は、関税、輸入品商品税及び輸入品に係る消費税。